

提言(1)

- 「医薬品」であると否とに関わらず、臍帯血の品質向上と安全性の確保は必要である。
- 現在の体制下においても、品質向上のためには製法・規格試験の統一、検査機関の集中・共用などを行う必要がある。
- 安全性確保のためには、検査精度の向上、記録保存と追跡・遡及調査などの管理体制強化が必要である。

提言(2)

- 現在の臍帯血バンクをGTPレベルで運用する「移行期」を経過して、将来的にはGMPLレベルを目指すことが望ましい。
- その際には、バンクの安定的な運営のために、常勤職員の確保と雇用を義務づけ、人件費補助の拡充が必要と見込まれる